記 載 例

2008年11月20日 制定　2020年04月01日 改訂　2020年11月01日 改訂
2021年04月01日 改訂　2025年04月01日 改訂
2025年06月01日 改訂　2026年10月01日 改訂

安全提出書類　　目次

必　須　書　類		
提出書類の名称	受理年月日	提出時期
1. 安全衛生管理実行誓約書（付録含む）	年　月　日	工事着工の５日前までに
2. 安全衛生責任者選任報告	年　月　日	
3. 雇入通知書・労働契約書等備付誓約書	年　月　日	
4. 不法就労外国人等を雇用しない誓約書	年　月　日	
5. 墜落制止用器具（安全帯）使用の誓約書	年　月　日	
6. 作業員名簿 （施工体制台帳書類になりました。）	年　月　日	
7. 新規入場者就労報告書（自己申告書）	年　月　日	随時(工事着手中)
8. 送り出し教育実施報告書	年　月　日	作業の前日までに
9. 安全衛生作業打合簿･作業指示書	年　月　日	随時（工事着手中）
10. 安全ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・危険予知活動報告書	年　月　日	

受理日を必ず記入し、現場代理人の捺印をする事。

必要に応じて提出する書類		
提出書類の名称	受理年月日	提出時期
11. 持込機械等（移動式ｸﾚｰﾝ・車両系建設機械等）使用届	年　月　日	持込の５日前までに
12. 小型移動式クレーン作業打合表	年　月　日	使用の前日までに
13. 車両系建設機械作業打合表	年　月　日	
14. 重機作業計画書	年　月　日	
15. 持込機械等（電動工具・電気溶接機等）使用届	年　月　日	持込の５日前までに
16. 年少者・高齢者就労届	年　月　日	工事着工の５日前までに
17. 工事用車両届・運行経路図	年　月　日	
18. 危険物・有害物持込使用届	年　月　日	使用の前日までに
19. 火気使用願	年　月　日	
20. 月度安全衛生計画表	当社作成	工事着工の５日前までに
21. 安全衛生管理計画書	年　月　日	
22. 事業所安全衛生管理計画書	年　月　日	
23. 事業主パトロール点検表	年　月　日	施工期間中月１回
24. 事業主パトロールチェックリスト	年　月　日	
25. 事業主パトロール確認欄	年　月　日	

受理日を必ず記入し、現場代理人の捺印をする事。

注）1～19の提出書類は、要否を判断のうえ期日までに作業所へ提出して下さい。

20～25の提出書類は、必要に応じて所長と協議のうえ提出して下さい。

7および10の提出書類は、2026年10月01日　改訂書類です。

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂
2020年04月01日　改訂

20〇〇年〇月〇日

安全衛生管理実行誓約書

契約日以降
着工日前迄

西 武 造 園 株 式 会 社
〇〇公園整備工事作業所長 殿

作業所長（現場代理人）の名前

所 在 地
会 社 名
代表者名　　印

該当企業名記入、企業社印

契約工事件名

対象工事名　：　〇〇公園整備工事

対象期間　：　２０〇〇年〇〇月〇〇日～２０〇〇年〇〇月〇〇日

契約工期

貴社発注に係る工事施工にあたっては、労働基準法、労働安全衛生法、建設雇用改善法その他関係法令に定めるすべての責任と義務を果たすとともに、別紙に定める誓約事項を確実に遵守することを誓約します。

元　請 確認欄	所長印　担当者印

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂
2020年04月01日　改訂

誓　約　事　項

（統括管理に対する協力）

１．貴社の定める安全衛生管理に関する規程を誠実に守り、指示、命令には必ず従います。

２．安全朝礼、安全工程打合せ、安全衛生会議、安全大会、教育訓練、一斉清掃、その他の行事には必ず参加します。

３．作業安全指示書により指示された事項は、作業開始前に、安全ミーティングを通じて関係作業員に周知徹底させ、その結果は、速やかに報告します。

４．担当する作業箇所の整理整頓、後片付けを確実に実施し、常に作業環境を整備します。

（反社会的勢力でないことの表明・保証）

５．当社は貴社に対し、当社が暴力団、暴力団関係企業・団体その他反社会的勢力(以下〔反社会的勢力〕という)に該当しないこと、反社会的勢力の支配・影響をうけていないこと、および当社の役員、従業員、関係者等が反社会的勢力の構成員またはその関係者ではないことを表明すると共に保証します。

６．前項については、当社の再下請人においても適応します。

（届出書類）

７．工事着工前に、「建設業法・建設雇用改善法等に基づく届出書」、「作業員名簿」および作業所で必要とする書類を提出します。また、提出後記載内容に訂正、変更または追加すべき事項が生じた場合は、その都度書面により届けを提出します。

８．提出書類等全ての書類に対して、虚偽の記載は一切いたしません。

（自主的災害防止）

９．安全衛生責任者、作業主任者、作業指揮者を選任または指名して現場に常駐させ、災害防止に必要な権限を与え、自主的に災害防止活動を推進します。

（持込機械等使用届）

10．当社が現場に持込み、使用する機械等については、事前に「持込機械等使用届」を提出し、承認を受けた後使用します。

（免許、資格等）

11．免許、資格を必要とする作業には、当該免許・資格を有する者を配置し、特別教育を必要とする作業には、特別教育修了者を必ず就労させます。

12. 雇い入れ時、新規入場時、作業内容変更時における教育、特別教育および職長教育その他安全衛生に関する教育・訓練については、当社で自主的に実施するとともに、再下請業者が行うこれらの教育については、当社が責任をもって指導援助を行います。

（健康診断・適正配置）

13. 雇い入れ時、定期および特殊の健康診断は確実に実施し、常に作業員の健康管理には万全を期すとともに、就労にあたっては、技能、年令、健康状態等を考慮して、適正に配置します。また、貴社より作業員の健康診断書の提出を求められた場合には、速やかに提出致します。

（雇用管理）

14. 雇用管理責任者を選任して、雇用管理を適正に行い、賃金の不払い等は絶対致しません。また、万一当社の再下請業者において、賃金不払いが生じた時は、遅滞なく貴社に報告するとともに、当社の責任において解決し、貴社にご迷惑をおかけ致しません。
15. 雇用契約書または雇い入れ通知書、労働者名簿、賃金台帳その他関係法令で定める書類は、当社に常備し、貴社より提出を求められた場合には、速やかに提出致します。

（作業員宿舎）

16. 貴社の作業員宿舎に作業員を入居させる場合には、予め貴社と作業員宿舎使用貸借契約を締結したうえで入居させます。

（再下請負業者）

17. 請負工事の一部を再下請負させる場合には、当社が、貴社に誓約した一切の事項を当社の責任において、当該再下請業者にも遵守させます。
18. 一人親方、中小事業主等労働保険法の適用を受けられない者に対しては、予め同法による特別加入を履行し、就労させます。
19. 再下請負業者が、貴社より不適当との指示を受けた場合は、直ちに当該下請負業者の入場を停止致します。

（事故の責任）

20. 当社はもちろん、当社の再下請負業者の故意または過失等により災害事故が発生した場合においても、当社において一切の責任を負い、貴社にはご迷惑をおかけ致しません。

（安全衛生管理実行誓約書控の保管）

21. 当誓約書の控えは、必ず当社において保管致します。

（個人情報について）

22. 貴社の開示する個人情報については、当工事の施工中および竣工後を問わず、個人情報保護法および関連法令に基づき厳重に管理し、いかなる第三者に対しても開示、漏洩しません。

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

付　　録

１．安全衛生遵守事項

２．作業員の一般心得

３．作業主任者の一般職務

2008年11月20日　制定
2010年11月01日　改訂
2012年06月15日　改訂

安全衛生遵守事項

当社と下請負契約を結んだ協力業者（第二次以下の下請負会社も含む）およびその従業員は、安全衛生に関して次の事項を遵守しなければならない。また、直営業者においても、当社の統括管理下にある場合はこれに準ずる。

1．法令等の遵守

(1) 労働安全衛生法（以下法という。）および関係諸法に定められた義務および当社の指示事項を遵守するとともに、安全で快適な職場づくりに協力し、作業員の安全と健康を確保するよう努めなければならない。

(2) 当社より受注した工事の全部または一部を、第二次以下の下請負会社に発注するときは、当該業者に本遵守事項の徹底を図ると共に、連帯して安全衛生管理の責任を負わなければならない。

(3) 作業員の「一般心得」を別紙の通り定める。

2．安全管理一般

(1) 当社の災害防止についての必要な措置に協力しなければならない。

(2) 安全衛生責任者を選任し、作業所安全衛生管理者と協力し、またその指示に従い、作業所の災害防止に努めなければならない。

(3) 作業員に対し常に安全作業を行うよう指示監督しなければならない。

3．安全衛生責任体制

(1)現場代理人

現場代理人を選任し、作業所長に報告しなければならない。

(2)安全衛生管理者

作業所の安全衛生責任者を選任し、作業所安全衛生管理者に報告しなければならない。

(3)安全管理者・衛生管理者

協力業者は、１作業所の労働者が常時５０人をこえる場合には、法の定めるところにより安全管理者ならびに衛生管理者を選任し、遅滞なく所轄労働基準監督署に報告すると共に、作業所安全衛生管理者に届出書の写しを提出しなければならない。

(4)作業主任者

① 作業員を労働安全衛生法第１４条に定める業務（別紙）に就業させる場合は、作業主任者技能講習を終了した者のうちから作業主任者を選任し、作業所安全衛生管理者に報告しなければならない。

② 作業主任者の「一般職務」を別紙の通り定める。

(5)作業所安全衛生協議会

① 安全衛生責任者を作業所安全衛生協議会に必ず出席させなければならない。

② 止むを得ない場合は作業所安全衛生管理者の許可を得て代理人を出席させることができる。

(6) ＫＹミーティング

安全衛生責任者、作業主任者または作業指揮者それぞれに作業開始前及び適時に「ＫＹミーティング」を開催させ、安全な作業方法及び手順をフィンガーチェック等により、作業員に具体的に周知徹底させなければならない。

4. 教育訓練

(1) 安全衛生教育

労働者を雇い入れた時及び労働者の作業内容を変更した時には、労働安全衛生法第５９条第１項及び第２項にもとづき所定の安全衛生教育を実施のうえ就業させなければならない。

(2) 特別教育

労働安全衛生法第５９条第３項に定める危険または有害な業務（別紙）については、その業務についての安全又は衛生のための特別な教育を終了した労働者を就業させなければならない。

(3) 職長教育

労働安全衛生法第６０条に定める職長教育を職長に受けさせなければならない。

5. 就業制限

(1) 労働安全衛生法第６１条第１項及び第２項に定める業務（別紙）については、適格者を指名し、免許証又は修了証を提示して作業所安全衛生管理者の承認を受けなければならない。

(2) 前項で承認を受けた者が、当該業務に従事中においては、労働安全衛生法第６１条第３項の定めにより免許証又は修了証を携帯していなければならない。

(3) 高年齢者, 身体障害者等, 特に配慮を必要とする者の就業にあたっては、これらの者の心身の条件に応じた適正な配置に努めなければならない。

6. 健康管理

常時使用する作業員に対し、労働安全衛生規則第４３条および第４４条に基づき雇入時及び定期的に健康診断を実施し、常に作業員の健康状態を具体的に把握し、常時適正配置に心掛けなければならない。

7. 雇用管理

(1) 作業所に就労させる作業員の雇用に関する事項を処理するために雇用管理責任者を選任し、「安全衛生管理に関する誓約書」に「作業員名簿」を添えて、工事着手五日前までに作業所安全衛生管理者に提出しなければならない。

(2) 当社より受注した工事の全部又は一部を二次以下の下請負業者に発注するときは、それぞれの下請負業者に、「下請負状況報告書」および「作業員名簿」を作成させ、自社の提出書類と一括して作業所安全衛生管理者に提出しなければならない。

(3) 健康，技能，経験，安全衛生意識等を考慮して作業員を配置し、就業することが著しく不適当と認められる者については、直ちに交替させなければならない。

(4) 作業員名簿を当所に備え付け、就労者を常時適正に管理しなければならない。

(5) 年少者を使用する場合、年齢を証明する戸籍証明書等を備え付けると共に、「年少者就労届」を作業所安全衛生管理者に提出しなければならない。

8. 安全作業基準

(1)防護具、工具

① 作業員の使用する防護具，工具等を常に点検整備しなければならない。

② 作業員に対し保護帽，安全帯等法令に定められた防護具を必ず着用させ、その正しい使用方法を作業員に徹底させなければならない。

(2)足場受台、脚立、足場板

足場受台、脚立又は足場板について常に作業員に教育を行い、適正に使用させなければならない。

(3)荷上げ、荷下ろし作業

荷上げ、荷下ろし作業を行う場合は、運転，信号，合図，玉掛け等正しい使用方法で行わせなければならない。

(4)玉掛け作業

① クレーン等で吊り上げ荷重１トン以上の玉掛け作業については、技能講習修了者でなければ就かせてはならない。

② クレーン等で吊り上げ荷重１トン未満の玉掛け作業については、特別教育修了者でなければ就かせてはならない。

(5)火薬の使用

火薬を取り扱う場合には、作業所安全衛生管理者の指示に従い、その保管に細心の注意を払い、保管設備の維持に努めるとともに、使用にあたってはその使用量の適正管理に努めなければならない。

(6)持込機械

機械器具（電動機械工具も含む）を持ち込むときは、「持込機械使用届」により作業所安全衛生管理者に届け出、当該機械には所定の持込許可証を提出しなければならない。

(7)防護設備の除去と復旧

① 作業員に危険箇所（開口部，足場，桟橋，踊場等）の囲い、手摺又は覆い並びに壁つなぎその他の防護設備を、無断で取り外しさせてはならない。

② やむを得ず取り外す場合は、作業所安全衛生管理者の許可を得て外し、作業後は直ちに復旧するとともに、その旨を報告しなけばならない。

9. 作業環境

(1)整理・整頓・清掃

常に自己の作業場所の安全衛生を確保するため、毎日の作業終了後は、不用材，発生材，残材及び機械，工具，備品等を、作業所安全衛生管理者の指定する場所に集積又は格納して整理・整頓に努めなければならない。

(2)作業所、宿舎等の環境整備

使用する作業所，便所等について、常に環境衛生の整備に努め、作業員宿舎を設けるときは、管理責任者を定めて、「建設業付属寄宿舎規則」に基づく環境衛生整備を常に行い、十分な管理にあたらせなければならない。

10．火災、交通災害防止

(1)火災の防止

溶接その他火気を使用する場合は、予め火気使用責任者を定め、「火気使用届」を作業所安全衛生管理者に提出し許可を得たうえで、消火器、防火用水等を設置すると共に、十分な防火管理を行ってから使用しなければならない。

(2)交通災害の防止

現場内及び通勤時の交通災害防止について特に留意し、作業員等に対し適切な教育をしなければならない。

11．災害発生時の処置

現場内で事故及び災害を発見又は予見したときは、担当業務の如何を問わず、直ちに臨機の処置を行うとともに、作業所安全衛生管理者に急報しなければならない。

12．その他

(1)朝礼への参加

作業所で開催する朝礼には当日就業する作業員全員を必ず参加させなければならない。

(2)規律の維持

事業主、近隣家屋、軌道、公共施設、通行人および現場内の他業者に迷惑を及ぼさないよう、作業員の作業規律の維持に留意し、監督の責任を負わなければならない。

(3)労働者災害補償保険への特別加入

一人親方等労働者災害補償保険法の適用外の者に工事の全部または一部を発注する際は、同法第２８条および第２９条に定める労働者災害補償保険への特別加入をさせなければならない。

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

作業員の一般心得

1．規律の遵守
(1)　職場の秩序を保ち、互いに協力しあって業務を遂行すること。
(2)　酒気を帯びて就業しないこと。

2．作業の仕方
(1)　正しい技能を身につけ、手順を省くことなく安全な作業方法を守ること。
(2)　定められた合図，誘導，指示を遵守すること。
(3)　無理，無駄等の排除に心掛けること。

3．服装、保護具
作業に適した安全な服装を整え、必要な保護具を正しく使用すること。
(半裸体作業の禁止、清潔な服装の保持、安全靴、安全帽、保護メガネ、安全帯等の正しい使用)

4．立入禁止及び危険区域
(1)　立入禁止等の標識の出ている箇所には絶対に入らないこと。
(2)　危険な区域(クレーンの作業半径内，建設機械の周囲，高所作業床，落下物危険箇所等)にみだりに立ち入らないこと。

5．通路，昇降設備
定められた通路及び昇降設備を使用すること。

6．建設機械等
(1)　建設機械，電動機又はスイッチ等危険なものにみだりに触れないこと。
(2)　動力による機械の運転，点検，修繕等は、指名者以外は行わないこと。
(3)　正しい教育訓練を受けてから、機械を取り扱うこと。
(4)　作業中断時及び終了時は、災害防止の措置を行うこと。

7．施設
(1)　作業施設の始業前点検を行うこと。
(2)　作業施設等に不備な箇所があるときは、放置することなく、修正して使用するか是正を申し出ること。
(3)　不明な点は、作業所安全衛生管理者又は係員に確認して行うこと。

8．物の投下、落下
(1)　安全な投下設備があるかまたは監視人付きでなければ、高所から物を投下しないこと。
(2)　工具，資材等の落下，風散については十分注意すること。

9．火気使用

(1)　指定した以外の場所では、喫煙を行わないこと。また、その他の火気を使用しないこと。

(2)　作業中は、禁煙とする。

(3)　許可を受けて火気を使用した者は、確実に残り火を始末し、その旨を係員に連絡すること。

(4)　可燃物に近接して溶接を行う又は火気を使用する際は、耐火材で遮断し、かつ消火器等の消火設備を設置すること。

10．整理整頓

作業中断時及び毎日の作業終了時には、必ず整理整頓を行うこと。

11．健康管理

(1)　定期的に健康診断を受け、常に健康には留意すること。

(2)　暴飲暴食，睡眠不足等を避け、常に疲労回復に努めること。

(3)　身体に異常があるときは、作業所安全衛生管理者または係員に申し出ること。

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

作業主任者の一般職務

１．　当社係員から施工計画又は設計図等の説明を受け、事前に作業方法の打合せを行い、作業に拘る安全に対する指示を受ける。

２．　作業方法，時期，手順及び作業員の配置を決定し、ＫＹミーティング等を通じて作業員に対して安全指示事項の周知徹底を計る。

３．　作業開始前に作業施設，使用機械，器具，工具及び資材を点検すると共に、使用方法及び手入れについて、作業員に指導する。

４．　酸素欠乏危険作業等の特定作業については、当該作業人員及び状況を把握すると共に作業所安全衛生管理者に報告する。

５．　当該作業については直接作業を指揮し、作業中の危険防止に対する注意喚起を行う。

６．　保安帽，安全帯その他の保護具の使用状況を監視し、資材等の上げ下ろしには、吊り網，吊り袋等使用させる。

７．　危険な作業を行う時は、当社係員と協議のうえ、安全通路の確保及び必要な標示をし、関係者以外の立入を禁止する処置を講ずる。

８．　作業中崩壊、爆発等危険箇所を発見した場合は、速やかに作業員を避難させる等臨機の処置を行うと共に作業所安全衛生管理者に連絡する。

９．　悪天候等で危険が予想されるときは、その旨を作業所安全衛生管理者に申し出て作業を中止する。

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂
2020年04月01日　改訂

安全衛生責任者選任報告

工事の種類	請負人名称	所在地	
敷地造成　工事	○○造園土木株式会社	東京都○○区△△２町目	
役職名・氏名	工事部長　○○　△△	生年月日	19○○　年 ○ 月 ○ 日(満 ○ ○　歳)
選任年月日	20○○ 年 ○ 月 ○ 日	経験年数	○○　年

該当者情報記入

20○○　年　○　月　○　日　　１次会社名
(　○　次)
会　社　名　　印

提出日

該当企業名記入、企業社印

統括安全衛生責任者殿

安全衛生責任者の資格・免許

過去に担当した貴社の現場		
所有する資格と終了した教育等○で囲む	職長教育	年　月受講・未受講(　支店) 年　月修了・未受講(　年　月受講予定)
	主任技術者資格者	1級造園施工管理技士　2級造園施工管理技士 1級土木施工管理技士　その他（　）
	作業主任者	a. コンクリート造解体　b. 地山掘削　c. 土止め支保工 d. 足場　e. 鉄骨建方　f. 型枠支保工　g. 酸素欠乏作業 h. ずい等の掘削・覆工　i. コンクリ･鋼橋架設等　j. その他
	免許	a. クレーン免許(5ｔ以上)　b. 移動式クレーン免許(5ｔ以上)
	技能講習	a. 玉掛け(1ｔ以上)　b. 小型移動式クレーン(1～5ｔ)　c. ガス溶接 d. 高所作業車(作業床10m以上)　e. 車両系（基礎工事3ｔ以上) f. 車両系(整地･運搬･掘削･積込3ｔ以上) g. 車両系(解体工事3ｔ以上)　h. フォークリフト(1ｔ以上) i. その他(　)
	特別教育	a. アーク溶接　b. 研削といし　c. ゴンドラ d. 高所作業車(作業床10m未満)　e. クレーン(1～5ｔ) f. 建設用リフト　g. コンクリートポンプ車　h. 巻き上げ機 i. 酸素欠乏作業　j. フォークリフト(1ｔ未満) k. 移動式クレーン(1ｔ未満)　l. 車両系(3ｔ未満)　m. ローラー n. ボーリングマシン　o. 電気取り扱い　p. その他(　)

私はこのたび貴現場の安全衛生責任者として選任されました。この事実を確認するとともに、誠実に職務を遂行することをここに誓約いたします。
なお、上記の資格等につきましては間違いありません。

本人の署名　　㊞

本人直筆の署名

捺印

元請確認欄	所長印　担当者印

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

20〇〇年〇月〇日

雇入通知書・労働契約書等備付誓約書

契約日以降
着工日前迄

対象工事名：〇〇公園整備工事

〇〇公園整備工事作業所長 殿

工事件名、作業所名

所 在 地
会 社 名
代表者名　　印

該当企業名記入、企業社印

今般、貴社より受注いたしました工事の施工にあたり、当該現場に従事する作業員については、雇入通知書・労働契約書等必要書類を完備し、当社に備え付けいたしておりますことを誓約いたします。

また、作業員について、雇入時および定期的に健康診断を実施し、記録を備えることを誓います。なお、貴作業所で必要と認められる者については、申し出により健康診断書の提出をいたします。

元　請 確認欄	所長印　担当者印

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

20〇〇年〇〇月〇〇日

不法就労外国人等を雇用しない誓約書

契約日以降
着工日前迄

対象工事名：〇〇公園整備工事

〇〇公園整備工事作業所長 殿

工事件名、作業所名

所 在 地
会 社 名
代表者名　　印

該当企業名記入、企業社印

今般、貴社より受注いたしました工事の施工にあたり、当社の作業員には「出入国管理及び難民認定法（入管法）」に違反して、不法に就労する外国人を雇用していないことを誓約いたします。

元　請 確認欄	所長印　担当者印

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂
2020年04月01日　改訂

20〇〇年〇〇月〇〇日

墜落制止用器具（安全帯）使用の誓約書

契約日以降
着工日前迄

対象工事名：〇〇公園整備工事

〇〇公園整備工事作業所長 殿

工事件名、作業所名

所 在 地
会 社 名
代表者名　　印

該当企業名記入、企業社印

今般、貴社より受注いたしました工事の施工にあたり、墜落災害防止を計るため、作業員の高所作業における墜落制止用器具（安全帯）の使用については、安全基準に基づき、墜落災害防止に万全を期すことを誓約いたします。

元　請 確認欄	所長印　担当者印

記 載 例

2008年11月20日　制定
2020年11月01日　改訂
2021年04月01日　改訂

元請確認欄	所長印	担当者印

作成日

作業所名・現場ＩＤ、作業所長名

作　業　員　名　簿

（○　年　○　月　○　日　作成）

事業所の名称・現場ID　○○公園作業所　91986666456789

所　長　名　○○　△△　殿

本書面に記載した内容は、作業員名簿として安全衛生管理や労働災害発生時の緊急連絡・対応のために元請負業者に提示することについて、記載者本人は同意しています。

一次会社名・事業者ID　一次下請企業名・事業者ID

（次）会社名・事業者ID　該当企業名記入・事業者ID、企業社印　印

番号	フリガナ / 氏名 / 技能者ID	職種	※	雇入年月日 / 経験年数	生年月日 / 年齢	現住所 / 緊急連絡先	最近の健康診断日 / 血圧	血液型	特殊健康診断日 / 種類	健康保険 / 年金保険 / 雇用保険		教育・資格・免許 / 雇入・職長特別教育	技能講習	免許	入場年月日 / 受入教育実施年月日	建退共加入の有無 / 中退共加入の有無
	ゾウエンタロウ 造園　太郎 123456789012	造園工	現	20○○年○月○日 ○○年	19○○年○月○日 ○○歳	東京都○○区○○1-2-3　03-0000-0000 (TEL) 同　上 (TEL)	20○○年○月○日 70～125	O	年　月　日	○○健保 厚生年金 雇用保険	×××× 作業員個人の社会保険加入状況の確認 健康保険欄は健康保険名称のみ記載 年金保険欄は年金保険名称のみ記載	伐木の業務 刈払機取扱作業者 高所作業車　等	車両系建設機械 玉掛　等	○級○○施工管理技士 ○級建築士 技術士　等	20○○年□月□日 20○○年△月△日	有・無 有・無
				年　月　日 年	年　月　日 歳	(TEL) (TEL)	年　月　日		年　月　日						年　月　日 年　月　日	有・無 有・無
				年　月　日 年	年　月　日 歳	(TEL) (TEL)	年　月　日		年　月　日						年　月　日 年　月　日	有・無 有・無
				年　月　日 年	年　月　日 歳	(TEL) (TEL)	年　月　日		年　月　日						年　月　日 年　月　日	有・無 有・無
				年　月　日 年	年　月　日 歳	(TEL) (TEL)	年　月　日		年　月　日						年　月　日 年　月　日	有・無 有・無
				年　月　日 年	年　月　日 歳	(TEL) (TEL)	年　月　日		年　月　日						年　月　日 年　月　日	有・無 有・無
				年　月　日 年	年　月　日 歳	(TEL) (TEL)	年　月　日		年　月　日						年　月　日 年　月　日	有・無 有・無
				年　月　日 年	年　月　日 歳	(TEL) (TEL)	年　月　日		年　月　日						年　月　日 年　月　日	有・無 有・無
				年　月　日 年	年　月　日 歳	(TEL) (TEL)	年　月　日		年　月　日						年　月　日 年　月　日	有・無 有・無
				年　月　日 年	年　月　日 歳	(TEL) (TEL)	年　月　日		年　月　日						年　月　日 年　月　日	有・無 有・無

（注）1. ※印欄には次の記号を入れる。
現… 現場代理人　主… 作業主任者（正副2名選任すること）　女… 女子作業員
技… 主任技術者　職… 職長　安… 安全衛生責任者　未… 18歳未満の作業員
習… 外国人技能実習生　就… 外国人建設就労者

2. 作業員名簿に記載される作業員は、当該工事に従事する見込みの者を必要最小限報告し、追加の都度この様式で提出する。
3. 経験年数は現在担当している仕事の経験年数を記入する。
4. 各社別に作成するのが原則ですが、リース機械等の運転者は一緒でもよい。
5. 資格・免許等の写しを添付すること。
6. 健康保険欄には、左欄に名称（健康保険組合、協会けんぽ、建設国保、国民健康保険）を記載。番号下4桁は記載しないこと。
上記保険に加入しておらず、後期高齢者である等により、国民健康保険の適用除外である場合は、左欄に『適用除外』と記載。
7. 年金保険欄には、左欄に名称（厚生年金、国民年金等）を、各年金の受給者である場合は『受給者』と記載。
8. 雇用保険欄には、右欄に被保険者番号の下4桁を、事業主である等により適用除外である場合は左欄に『適用除外』と記載。
9. 建設業退職金共済制度及び中小企業退職金共済制度への加入の有無については、それぞれ該当するものに○で囲む。

記 載 例

2014年09月01日　制定　　2015年02月01日　改訂　　2020年04月01日　改訂
2025年04月01日　改訂　　2026年10月01日　改訂

新規入場者就労報告書(自己申告書)

（事業主記入）　⇒　必ず事業主（企業側）が記載下さい。入場者本人の記載欄ではありません。

○○公園整備工事　　作業所 殿	一　次 協力会社　○○造園㈱　　TEL 03-1234-0000

雇用会社（報告会社）㈱△△造園土木	TEL 042-000-0000	職種 造園工	雇用者名 ○○　△△　㊞ 雇用年月日 20○○ 年 ○ 月 ○ 日

下記の作業員が貴作業所に就労しますので報告いたします。（雇用会社が記載し、未記載分がある場合は本人記入とする）

（ふ り が な） 氏　　名	ぞうえん　たろう 造園　太郎	大正 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 平成　（ 69 才）
現 住 所	東京都○○区○○1-2-3 TEL 03-0000-0000	家 族 構 成 妻 ・ 夫 ・ 子供（　人）・ 父 ・ 母
緊 急 連 絡 先 （現 住 所 以 外）	氏名 造園　○子　（続柄） 配偶者 住所 東京都○○　入場日から1年未満の日付であることを確認してください	TEL 080-0000-0000
健 康 診 断 ※ 安衛法 第66条の4「有所見者」については就業制限に関する医師の意見が必要です	健康診断受診日 20○○ 年 ○ 月 ○ 日　特殊健康診断受診日 年 月 日 所見： ☐ なし ☑ あり ➡ 医師の意見（就業制限）： ☐ なし ☑ あり ➡ 高所作業禁止 血圧：最高 120　最低 70　血液型 ：A ・ B ・ AB ・ O （Rh ＋ ・ － ）	
保 険 関 係 （労 働 保 険） （社 会 保 険）	本人は ☑ 労働者 ☐ 一人親方 ☐ 中小事業主 ➡ 労災保険の特別加入 ☐ 加入 ➡（加入組合名） ※一人親方・中小事業主の場合にチェックを入れる。 ☐ 未加入 （労災保険番号） 健康保険 ：☑ 加入 （健康保険組合、協会けんぽ、建設国保、国民健康保険）☐ 未加入　※75才以上は後期高齢者医療保険制度に移行するので未加入にチェック 年金保険 ：☑ 加入 （厚生年金・国民年金等） ☐ 未加入　※適用事業所（法人事業所 もしくは 常時使用される者が5人以上の個人事業所）で働く70未満の方は厚生年金加入対象 雇用保険 ：☐ 加入 ※年齢制限無し 65歳以上も加入要 ☐ 未加入 （週20時間未満・学生・同居親族や役員）※適用除外もしくは加入不可のケース	
保 有 す る 資 格 ※必要な資格証の写しも提出してください	【免　許】 ☐ 造園施工管理技士（1級・2級） ☐ 土木施工管理技士（1級・2級） ☐ 造園技能士（1級・2級） ☐ 移動式クレーン運転（5t以上） ☐ その他（　）	
	【技能講習】 ☑ 移動式クレーン運転（5t未満） ☑ 玉掛作業（1t以上） ☑ 車両系建設機械（機体3t以上） ☐ 不整地運搬車（積載1t以上） ☐ ショベルローダー（荷重1t以上） ☐ 高所作業車運転（10m以上） ☐ 足場組立等作業主任者 ☐ 地山掘削作業主任者 ☐ 土止め支保工作業主任者 ☐ 型枠支保工作業主任者 ☐ 有機溶剤作業主任者 ☐ その他（　）	
	【特別教育】 ☐ 移動式クレーン運転（1t未満） ☐ 玉掛作業（1t未満） ☐ 車両系建設機械（機体3t未満） ☐ 不整地運搬車（積載1t未満） ☐ ショベルローダー（荷重1t未満） ☐ 高所作業車運転（10m未満） ☑ チェーンソー ☐ ロープ高所作業 ☐ フルハーネス ☑ 研削といしの取替え・試運転 ☐ 足場組立 ☐ その他（　）【特別教育に準じた安全衛生教育】 ☐ 刈払機 ☐ 丸のこ	
	【教　育】 ☐ 送り出し教育終了 ☐ 雇入教育終了 ☐ 職長教育終了	
業 務 経 験 等	当社での通算経験年数 ☑ 1年以上 ☐ 1年未満 ☐ 初めて	

（本人記入）　※この欄は就労者本人が入場時に記載してください！

健 康 状 態 ※入場時の健康状態を記載してください	治療している病気既往症・持病	☑ ある ➡ ☑ 高血圧 ☐ 低血圧 ☐ 糖尿病 ☐ 不整脈 ☐ 狭心症 ☐ 腰痛 ☐ 難聴 ☐ 弱視 ☐ その他（　） ☐ なし
	最近の健康状態	☑ 良い ☐ 悪い ➡ ☐ 気分が悪い ☐ フラフラする ☐ 頭が重い ☐ 体がだるい ☐ 熱がある ☐ その他（　）
送り出し教育受講日	☑ 受講した 20○○ 年 ○ 月 ○ 日 ☐ 受講していない	
誓　　約	私は、別添教育資料に基づき、新規入場者教育を受けましたので、本申告書を提出の上、安全作業に努めます。なお、記載された個人情報の業務上の利用にはなんら異存はありません。記載事項については、相違ありません。 氏名（自筆） 直筆署名　年齢 ○ 才　現職の通算経験年数 ○ 年　直筆署名	

作業所所見　元方事業者（元請）記入欄です	新規入場者教育実施日	作業所
健康診断就業制限事項、治療中の病気、及び年齢を配慮して高所作業禁止、重筋作業禁止の配慮要	20○○ 年 ○ 月 ○ 日	所長印　担当者印

※上記に記載された個人情報は、作業員の適正配置・安全衛生管理・災害発生時の連絡及び取得資格確認に使用し、他の目的には使用しません。

記 載 例

2008年11月20日　制定
2010年11月01日　改訂
2012年06月15日　改訂

元 請 確認欄	所長印	担当者印

作業所名、作業所長名

20〇〇 年 〇 月 〇 日

送り出し教育実施報告書

入場日前迄

事業所の名称　〇〇公園整備工事作業所

所　長　名　〇〇　△△　殿　　会　社　名　該当企業名

現場代理人
（現場責任者）　該当企業現場代理人名、捺印　㊞

項　目	摘　要　⇒開催日時，教育内容を記載
教育の種類	新規入場時　・　雇入時　・　作業変更時
実施日時	20〇〇 年 △ 月 △ 日　15 時 0 分 ～ 16 時 0 分　（ 1 時間 ）
実施場所	当社会議室
教育方法	講義、ｽﾗｲﾄﾞ
教育内容	1. 作業所の概要と規則について 2. 保護具の使用について 3. 機械の取扱及び点検について 4. 作業の内容について 5. 緊急時の連絡、応急処置について 6. 7.
講師	工事部長　〇〇　□□
受講者氏名 [受講者に氏名を自筆させること]	〇〇　〇〇 △△　△△ □□　□□ ××　×× 教育受講者本人の直筆署名
資料	

記 載 例

2010年11月01日　制定
2012年06月15日　改訂
2020年04月01日　改訂

前回まで～今回までの累計人員を記載

安 全 衛 生 作 業 打 合 簿 ・ 作 業 指 示 書

工事名	○○公園整備工事
打 合 日	20○○年○月1日　（月）　天候予報　（はれ）
作 業 日	20○○年○月2日　（火）　天候予報　（はれ⇒曇り）

統 責 者（工事責任者）	元 方 安 全 衛生管理者	記録者
所長印		担当者印

協力会社名	作 業 内 容	品質関連指示事項	作業場所	使用機械能力	必要資格番号	人員 予	人員 実	人員 累計	連絡調整 ・ 指導 ・ 指示事項（危険有害要因除去 ・ 低減策）	職長サイン	備 考
○○造園	高木植栽（H3.0　10本）	樹木の表裏に注意して立ちを	中央園路	0.1BH	②	3	4	48	植穴掘削時に重機と作業員との接触を防ぐため	直筆サイン	
		意識して植栽する							合図の確認を徹底する。		
△△土木	U型側溝（U-300）布設	目地の収まりに注意する	外周部	0.2BH	②	5	6	19	U型側溝の吊り込み時には、専用の吊り具を	直筆サイン	
		端部に端尺物（L300以下）		4tﾕﾆｯｸ	①，③				使用し、手詰め，足詰めに注意する。		
		が入らないようにすること									
									有資格者によるクレーン作業を徹底し、アウトリ		
									ガーの最大張り出し確認とクレーン設置地盤		
									の確認を行う。		

配置図・全体略図　（別紙　有　・　無）

現場概略図を添付　※別紙図面添付可（両面コピー等）

品質関連予定

（検査　立会　その他）

9：00～
○○監督員　材料受入検査

安 全 巡 視 記 録 （ 良好 ： ○　不良 ： ×　該当無し ： ／ ）

巡 視 項 目		指摘事項及び是正処置	巡 視 項 目		指摘事項及び是正処置
1. 新規入場者教育実施者（2）名	○	△△土木　2名	12. 持込機械受理票	○	
2. 保護帽・保護具の着用	○		13. 作業半径内立入禁止措置	○	
3. KY活動の実施状況	○		14. 作業主任者の選定	／	
4. 作業内容の周知徹底	○		15. 有資格者の配置	○	
5. 作業ヤードの明示	○		16. 作業通路の確保	○	
6. 立入禁止措置	○		17. 現場内の整理整頓	×	園路内に残材あり。速やかに整理。
7. 墜落防止措置	○		18. 資材置場・詰所の整理整頓	○	
8. 開口部等の危険箇所の処置	○		19. 指定場所での喫煙	○	
9. 掘削時安全勾配の確保	○		20. 車両の安全管理の徹底	○	
10. 使用機械の始業前点検	○				
11. 持込機械の定期点検	○				

材料搬入 ・ 搬出予定

品 名	時 間	数 量	摘 要
ヤマザクラ　H3.0	8:30	10本	4ｔユニック

資材搬出入荷伴う特記事項

※必要資格の番号を記入すること。

①･･･刈払機取扱作業者　②･･･伐木等の業務（ﾁｪｰﾝｿｰ）　③･･･ｸﾚｰﾝ等運転　④･･･車両系建設機械運転　⑤･･･玉掛作業　⑥･･･ｶﾞｽ溶接作業　⑦･･･高所作業車運転
⑧･･･地山掘削　⑨･･･土止め支保工　⑩･･･型枠支保工　⑪･･･足場組立　⑫･･･鉄骨組立　⑬･･･その他の資格（資格名記入）

記 載 例

2010年11月01日　制定　2020年04月01日　改訂　2020年07月01日　改訂
2025年04月01日　改訂　2025年06月01日　改訂　2026年10月01日　改訂

年　月　日（　）

安全ミーティング・危険予知活動　報告書

統括安全衛生責任者		担当者
所長印		担当者印

協力会社（グループ名）	○○造園	安全衛生責任者（職長名）	○○　○○	合計	4人

本日の作業内容・作業手順

高木植栽工

安全指示事項（元方事業者記入欄）

元請記入欄

※当日の安全指示事項を記載

ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　t-（ ）台、ﾕﾆｯｸ車　4t-（1）台、移動式ｸﾚｰﾝ吊荷重10t-（1）台、ﾊﾞｯｸﾎｳ　㎥-（ ）台、ｸﾚｰﾝ機能付ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.4㎥-（1）台、高所作業車12m-（1）台、不整地運搬車最大積載　t-（ ）台、刈払い機（ ）台、ﾁｪｰﾝｿｰ（ ）台、ﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ（ ）台、丸ﾉｺ（ ）台、ﾍｯｼﾞﾄﾘﾏｰ（ ）台、その他　（ ）台

熱中症危険度判定　S・(A)・B・C・D

どんな危険があるか？	重篤度	可能性	評価	危険度	私たちはこうする（リスクの低減措置の実施）※「保護メガネを着用する」「監視人を配置する」など、具体的な対策を記載	重篤度	可能性	評価	危険度
① 重機と作業員との接触	×	△	×△	4	① 作業前に重機OPとの合図の確認を行い、旋回範囲内には入らないようにする。 作業範囲の区画を行い、他の作業員の進入が無いようにする。	△	○	△○	2
② 掘削箇所への作業員の転落	△	△	△△	3	② 開口部に養生又は開口部の明示を行う。	○	○	○○	1
③ 高木搬入時の吊り荷の落下	×	△	×△	4	③ 有資格者による玉掛け、クレーン作業を徹底する。 アウトリガーの全張り出しを徹底し、定格荷重を守り、転倒を防止する。	△	○	△○	2

本日の フィンガー・チェック	立入禁止措置　ヨシ！

フィンガー・チェック　重点実施項目（該当項目に○を付ける）

○	*（車両発進時、後退時には必ず）「左右 ヨシ！ ミラー ヨシ！」*
	（梯子、脚立使用時、体重をかけ据わり具合を確認して必ず）「安定 ヨシ！ 脚元 ヨシ！」
	（草刈、芝刈作業開始前、養生ネット設置完了後には必ず）「ネット ヨシ！ 周囲 ヨシ！」

「危険性」の評価

可能性の度合い ＼ 重篤度	× 極めて重大（死亡・障害）	△ 重大（休業災害）	○ 軽微（不休災害）
× かなり起こる（半年に1回程度）	× × 極めて大きい	△ × かなり大きい	○ × 中程度
△ たまに起こる（1年に1回程度）	× △ かなり大きい	△ △ 中程度	○ △ かなり小さい
○ ほとんど起こらない（5年に1回程度）	× ○ 中程度	△ ○ かなり小さい	○ ○ 極めて小さい

「重篤度」の見積基準

災害受傷程度の重大性	重篤度の見積基準	記号
極めて重大	死亡障害を伴う災害	×
重大	休業災害	△
軽微	不休災害	○

「可能性」の見積基準

災害発生の可能性（度合）	可能性の度合の見積基準	記号
かなり起こる	半年に1回程度発生する	×
たまに起こる	1年に1回程度発生する	△
ほとんど起こらない	5年に1回程度発生する	○

リスクの評価と危険度のランクと低減措置検討基準

リスクの評価	見積評価基準	危険度のランク	低減措置検討基準
××	極めて大きい	5	即座に対策が必要
×△　△×	かなり大きい	4	抜本的な対策が必要
×○　△△　○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○　○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

ミーティング参加者												
○○　○○	⑥⑧⑩	□□　□□□	④⑯									
××　××	⑥⑧⑩											
△△　△△	⑥⑧											

※氏名横に資格番号を記入すること
※（特準）特別教育に準じた教育
（特）特別教育　（技）技能講習

①刈払機（特準）②丸のこ（特準）③ﾁｪｰﾝｿｰ（特）④ﾛｰﾌﾟ高所作業（特）⑤ﾌﾙﾊｰﾈｽ（特）⑥移動式ｸﾚｰﾝ(1t未満)（特）⑦移動式ｸﾚｰﾝ(5t未満)（技）⑧玉掛(1t未満)（特）⑨玉掛(1t以上)（技）⑩車両系建設機械(機体3t未満)（特）⑪車両系建設機械(機体3t以上)（技）⑫不整地運搬車(積載1t未満)（特）⑬不整地運搬車(積載1t以上)（技）⑭ｼｮﾍﾞﾙﾛｰﾀﾞｰ(荷重1t未満)（特）⑮ｼｮﾍﾞﾙﾛｰﾀﾞｰ(荷重1t以上)（技）⑯高所作業車(10m未満)（特）⑰高所作業車(10m以上)（技）⑱足場の組立作業(全ての高さが対象)（特）⑲研削といし取替（特）⑳足場組立等作業主任者(5m以上の組立)（技）㉑地山掘削作業主任者(2m以上の掘削)（技）㉒土止め支保工作業主任者（技）㉓有機溶剤作業主任者（技）㉔その他の資格（資格名記入）

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

20〇〇 年 〇 月 〇 日

入場日前迄

持込機械等［移動式ｸﾚｰﾝ 車両系建設機械 等］使用届

事業所の名称 〇〇公園整備工事作業所

所　長　名 〇〇　△△

作業所名、作業所長名

一次会社名 該当企業名

持込会社名 該当企業名

（　一　次）代表者名 該当企業名、捺印 印

TEL

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備の上持込・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては関係法令に定められた事項を遵守します。

使用会社名	代表者名
△△土木㈱	〇〇　〇〇　印

	名称	メーカー	規格・性能	製造年	管理番号（整理番号）
機械	〇-〇〇	コベルコ	0.13m3積	2018年	××-××

持込年月日	年　月　日	使用場所		自社・リースの区別	
搬出予定年月日	年　月　日			自社・リース	

運転者（取扱者）	氏名	資格の種類
	（正）〇△　〇△	車両系建設機械（技能講習終了）
	（副）×〇　×〇	車両系建設機械（技能講習終了）

自主検査	定期	年次	〇〇年〇月〇日	移動式ｸﾚｰﾝ等の性能検査有効期限	必要事項記載 年　月　日	自動車検査証有効期限	必要事項記載 年　月　日
有効期限		月次	年　月　日				
	特定		年　月　日				

任意保険	加入額					
		対人	千円	搭乗者	千円	有効期限
		対物	千円	その他	千円	年　月　日

機械等の特性・その他その使用上注意すべき事項	留意事項記載

元請確認欄			受理番号	受理証確認者	
所長印	担当者	担当者印	001	〇〇年〇月〇日	

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

持込時の点検表

所有会社名	代表者名
△△土木㈱	○○　○○　印

移動式クレーン等			点検結果 (a)	点検結果 (b)	車両系建設機械等			点検結果 (a)	点検結果 (b)
点検事項					点検事項				
Aクレーン部（上部旋回体）	安全装置	巻過防止装置			D安全装置	各種ロック	旋回		
		過負荷防止装置					バケット		
		フックのはずれ止め					ブーム・アーム		
		起伏制御装置							
		旋回警報装置							
	制御装置・作業装置	主巻・補巻							
		起伏・旋回					警報装置		
		クラッチ					アウトリガ		
		ブレーキ・ロック					ヘッドガード		
		ジフ					照明		
		滑車			E作業装置		操作装置		
		フック・バケット					バケット・ブレード		
		ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ・ﾁｪｰﾝ					ブーム・アーム		
		玉掛用具					ジフ		
	その他	操作装置					リーダ		
		性能表示					ﾊﾝﾏ・ｵｰｶﾞ・ﾊﾞｲﾌﾞﾛ		
		照明	必要事項記載				油圧駆動装置	必要事項記載	
B車両部（下部走行体）	走行部	ブレーキ					ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ・ﾁｪｰﾝ		
		クラッチ					つり具等		
		ハンドル					滑車		
		タイヤ			F走行部		ブレーキ		
		クローラ					駐車ブレーキ		
	安全装置等	警報装置					ブレーキロック		
		各種ミラー					クラッチ		
		方向指示器					操縦装置		
		前後照灯					タイヤ・鉄輪		
		左折プロテクター					クローラ		
		アウトリガ			G電気装置		配電盤		
		昇降装置					配線		
		ベッセル					絶縁		
		後方監視装置					アース		
Cゴンドラ		突りょう							
		作業床			Hその他				
		昇降装置							
		電気装置							
		ﾜｲﾔ・ﾗｲﾌﾗｲﾝ							
(a)	点検日	年　月　日　点検者　印			(b)	点検日	年　月　日　点検者　印		

点検日、点検者署名，捺印

機械名

(1) クレーン
(2) 移動式クレーン
(3) デリック
(4) エレベーター
(5) 建設用リフト
(6) 高所作業車
(7) ゴンドラ
(8) ブル・ドーザー
(9) モーター・グレーダー
(10) トラクターショベル
(11) ずり積機
(12) スクレーパー
(13) スクレープ・ドーザー
(14) パワー・ショベル
(15) ドラグ・ショベル
（油圧ショベル）
(16) ドラグライン
(17) クラムシェル
(18) バケット掘削機
(19) トレンチャー
(20) コンクリート圧砕機
(21) くい打機
(22) くい抜機
(23) アース・ドリル
(24) ﾘﾊﾞｰｽ･ｻｰｷｭｰｲｼｮﾝ･ﾄﾞﾘﾙ
(25) せん孔機
(26) アース・オーガ
(27) ペーパー・ドレーン・マシン
(28) 地下連続壁施工機械
(29) ローラー
(30) クローラドリル
(31) ドリルジャンボ
(32) ロードヘッダー
(33) アスファルトフィニッシャー
(34) スタビライザ
(35) ロードプレーナー
(36) ロードカッター
(37) コンクリート吹付機
(38) ボーリングマシーン
(39) 重ダンプトラック
(40) ダンプトラック
(41) トラックミキサー
(42) 散水車
(43) 不整地運搬車
(44) コンクリートポンプ車
(45) その他

（注）
1. 持込機械等の届け出は、当該機械を持ち込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する個所へレ印を記入すること。
3. 自社の点検表にて点検したものは、その点検表を貼付する（転記の必要はなし）。
4. 機械名(1)から(6)まではA，B欄を、(7)はC欄を、(8)から(38)まではD、E，F、G欄を、(39)から(43)まではB欄を、(44)はB，D，E欄を使用して点検すること。
5. 点検結果の(a)は、機械所有会社の確認欄とし、(b)は持込会社又は機械使用会社の確認欄とする。元請が確認するときは、(b)の欄を利用すること。

記 載 例

2010年11月01日　制定
2012年06月15日　改訂

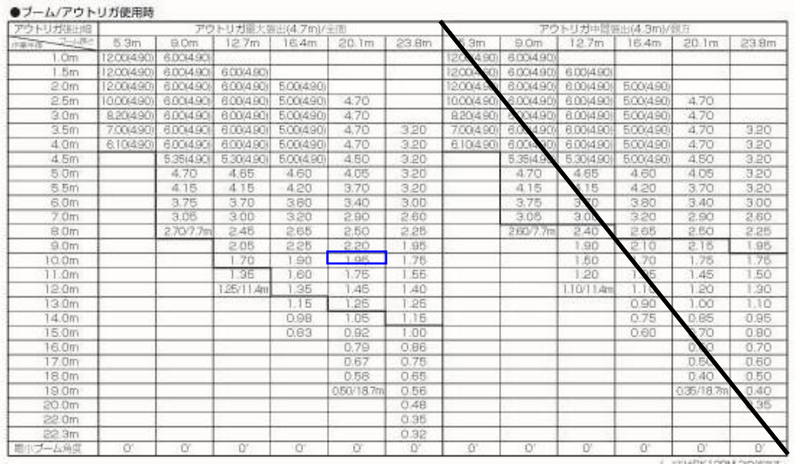
小型移動式クレーン及びクレーン作業打合表

作　業　日	20〇〇　年　　〇月　　〇日
作　業　内　容	遊具設置工事における部材組み立て作業
作業場所及び運行経路	別紙作業帯図による
使　用　機　種	コベルコ　RK120-3　　（フック重量　0.2　t）
吊荷の形状と重量	形状　H鋼　L=４０００　・重量　1.6ｔ
作業半径・定格荷重	作業半径　１０ｍ　・定格荷重　1.95t
余　　裕	定格荷重－（吊荷重量＋フック重量）＝0.15t
作業所周辺の状況	道路まで（　5.5）m　近接構造物まで（　　）m
	周辺民家まで（　40）m　その他構造物まで（　　）m
	ジブの使用（　有　・　無　）
	旋回方向　（右旋回　・　左旋回　・　両旋回　）
接地面の強度と養生	地盤　（地山　・　舗装　・　構台・その他　　）
	アウトリガー（全張出し・中間張出し）・拡幅式クローラークレーン（全拡張）
	養生　（敷板　・　敷鉄板　・　反力板　・　その他　　）
機械の所属会社	自　・　リース　　会社名
使　用　会　社	会社名　〇　〇　造園　　運転者名　〇　〇　〇　〇
指揮系統	工事担当職員　　業者作業指揮者　　見張員　合図者　玉掛者
立入禁止の措置	カラーコーン　・　トラロープ　・　A型バリケード　・　その他
架空線・埋設の確認	無　・　有　（電気　・　ガス　・　水道　・　下水　・　その他　　）
信　号　合　図	手合図　・　無線　・　笛　・　メガホン
玉　掛　方　法	あだ巻き　・　目通し吊り　・　はかま　・　あやがけ　・　モッコ
玉　掛　用　具	ワイヤー（　分　本）・ナイロンスリング（100mm　2本）・チェーン（　本）
	シャックル　・　イーグル　・　フック　・　その他

作業帯図及び略図（作業動線　・　クレーン配置　・　合図者位置　・　仮囲い等）

作業帯の概略図を添付し作業動線、クレーン配置、合図者位置、作業区画を明記する

定格荷重表を添付し当該工事での作業可能範囲の確認を行うこと



●ブーム/アウトリガ使用時

アウトリガ張出幅 / 作業半径	アウトリガ最大張出(4.7m)/全面						アウトリガ中間張出(4.3m)/後方					
	5.3m	9.0m	12.7m	16.4m	20.1m	23.8m	5.3m	9.0m	12.7m	16.4m	20.1m	23.8m
1.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)					12.00(4.90)	6.00(4.90)				
1.5m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)				12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)			
2.0m	12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)			12.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)		
2.5m	10.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.70		10.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.70	
3.0m	8.20(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.70		8.20(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.70	
3.5m	7.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.70	3.20	7.00(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.70	3.20
4.0m	6.10(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.70	3.20	6.10(4.90)	6.00(4.90)	6.00(4.90)	5.00(4.90)	4.70	3.20
4.5m		5.35(4.90)	5.30(4.90)	5.00(4.90)	4.60	3.20		5.35(4.90)	5.30(4.90)	5.00(4.90)	4.50	3.20
5.0m		4.70	4.65	4.60	4.05	3.20		4.70	4.65	4.60	4.05	3.20
5.5m		4.15	4.15	4.20	3.70	3.20		4.15	4.15	4.20	3.70	3.20
6.0m		3.75	3.70	3.80	3.40	3.00		3.75	3.70	3.80	3.40	3.00
7.0m		3.05	3.00	3.20	2.90	2.60		3.05	3.00	3.20	2.90	2.60
8.0m		2.70/7.7m	2.45	2.65	2.50	2.25		2.60/7.7m	2.40	2.65	2.50	2.25
9.0m			2.05	2.25	2.20	1.95			1.90	2.10	2.15	1.95
10.0m			1.70	1.90	1.95	1.75			1.50	1.70	1.75	1.75
11.0m			1.35	1.60	1.75	1.55			1.20	1.55	1.45	1.50
12.0m			1.25/11.4m	1.35	1.45	1.40			1.10/11.4m	1.1[illegible]	1.20	1.30
13.0m				1.15	1.25	1.25				0.90	1.00	1.10
14.0m				0.98	1.05	1.15				0.75	0.85	0.95
15.0m				0.83	0.92	1.00				0.60	0.70	0.80
16.0m					0.79	0.86					0.[illegible]	0.70
17.0m					0.67	0.75					0.5[illegible]	0.60
18.0m					0.58	0.65					0.40	0.50
19.0m					0.50/18.7m	0.56					0.35/18.7m	0.40
20.0m						0.48						0.35
22.0m						0.36						
22.3m						0.32						
最小ブーム時度	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°

クレーン作業指示書

〇　〇　　〇　〇　　殿　　作業所　指示者（　〇〇　〇〇　）

労働安全衛生規則第６６７条　第２項により下記事項を通知いたしますので遵守方お願いします。

記

作　業　内　容　・　指　揮　系　統　・　信　号　合　図　等は上記による

その他、労働災害防止のため必要な事項

1 作業開始前の点検を実施すること。
2 クレーンフックの外れ止め装置を確認すること。
3 アウトリガー（全張出し）、クローラークレーンは拡張を確認し、しっかりと据え付けること。
　・全張り出し出来ない場合、職員の許可を得ること。
　・設置地盤の強度が不明の場合、職員に問い合わせること。
4 合図者の合図を確認してから操作すること。
　・カウンターウエイトの旋回範囲に人、物のないことを確認する。
　・吊上げ　・　吊下げ中、　吊荷の真下に人のいないことを確認する。
5 定格荷重を越える荷重をかけて使用しないこと。
6 ジブの傾斜角の範囲を越えて使用しないこと。
7 ジブ・吊荷が接触するおそれがあるときは、監視員の配置を申し出ること。
8 ジブを伸ばしたままで運転席を離れないこと。

クレーン運転者	受領サイン	直筆サイン	免許証番号	記　載

指示事項

※現場にて指示内容を変更した場合は、所長又は、工事主任の承認を受ける。

印

所長印　担当者印

記 載 例

2010年11月01日　制定
2011年06月01日　改訂
2012年06月15日　改訂

車両系建設機械作業打合表

作　業　日	○○○○　年　○月　○日　（○）
交　通　規　制　方　法	通行止め　・　片側交互通行　・　幅員減少　・　その他
立　入　禁　止　処　置	カラーコーン　・　トラロープ　・　A型バリケード　・　その他
地　　形	平地　傾斜地（　　）％　・段差地・作業面（広い）・狭い
地　　質	硬岩・軟岩・礫・砂礫・シルト・粘性土・泥炭・その他
架空線・埋設の確認	無　・　有　（電気・ガス・水道・下水・その他　　）
上記の保護方法	試掘　・　立会　・　その他
転　倒　危　険　箇　所	無　・　有
転　倒　防　止　措　置	

作　業　方　法	安全上の留意点
丁張りからの下がり900mm(GL-700)にてバックホウにて掘削を行う。	重機と作業員との接触の防止のため合図の確認を徹底する。
暗渠排水管敷設後、単粒砕石で埋め戻す。	単粒砕石の搬入用ダンプの掘削路への転落を防止するため
	誘導員を配置する。

使　用　機　械

機械名及び使用目的	能力	台数	使用会社	運転者	必要資格
バックホウ	0.25m3積	1	○○造園	○○　○○	車両系
ダンプトラック	2ｔ	1	○○造園	△△　△△	普通免許

作業帯図及び略図（作業動線　・　機械配置　・　合図者位置　・　仮囲い等）

図　面　添　付

作業帯の概略図を添付し作業動線、クレーン配置、合図者位置、作業区画を明記する

作　業	必　要　資　格	
油圧ｼｮﾍﾞﾙ	車両系建設機械	・機体重量3t未満　：　特別教育
		・機体重量3t以上　：　技能講習
ｸﾚｰﾝ	移動式ｸﾚｰﾝ	・吊上荷重1t未満　：　特別教育
		・吊上荷重1t以上5t未満　：　技能講習
玉掛け	玉掛け	・吊上荷重1t未満　：　特別教育
		・吊上荷重1t以上　：　技能講習

車両系建設機械作業指示書

○　○　　○　○　　殿　　作業所　指示者（　○○　○○　）

下記事項を通知いたしますので遵守方お願いします。

記

作　業　内　容　・　指　揮　系　統　・　合　図　等は上記による

その他、労働災害防止のため必要な事項
1 作業開始前の点検を実施すること。
2 作業中重機オペレーターと作業員との合図の確認を徹底し旋回範囲内は、立入禁止とする。
3 油圧式バックホウの用途外使用については、当社職員の許可を得ること。
4 油圧式バックホウの用途外使用を行う際には、次の規格を満たすこととする。
・作業の性質上やむを得ないとき又は安全な作業の遂行上必要なとき
・その際の吊り荷重は最大　１ｔ　とし、平積バケット容量×1.8ｔ未満とする。
5 移動式クレーン仕様バックホウで吊り荷作業を行う際には、別途小型移動式クレーン及びクレーン作業打ち合わせ表を併せて作成し打ち合わせを行うこと。
6 その他打ち合わせにない不測の事態が発生した場合は速やかに、職員に連絡すること。

機械運転者	受領サイン	直筆サイン	免許証番号	記　載

指示事項

※現場にて指示内容を変更した場合は、所長又は、工事主任の承認を受ける。

印

所長印　担当者印

重 機 作 業 計 画 書

2019年

協力会社名：	△△造園	所長印	担当者 / 担当者印

作業内容	排水工事（雨水桝設置，配管）	作業日（MAX１週間）	2019 年 7 月 24 日 ～ 2019 年 7 月 30 日
打合せ日	2019 年 7 月 22 日 （ 月 ）	作 業 場 所	１工区全体

NO	作業時間			作 業 内 容（ 詳 細 ）	オペレーター	資格者証番号	指揮者・誘導員	玉掛資格者
1	8:20	～	17:00	雨水桝（掘削～床付～砕石基礎～桝設置PC製品）	田中　次郎	45-11040	中村　四郎	佐藤　六郎
		～						
2	8:20	～	17:00	排水管VU200布設（掘削～床付～砂基礎～VU200～砂埋戻し）	山口　三郎	50-23580	吉田　五郎	
		～						
		～						

☆毎日の重機作業の確認事項

元請確認者氏名：西武　太郎

オペレーター氏名：NO 1 田中　次郎　NO 2 山口　三郎

日付	24		25		26		27		28		29		30		備考
曜日	水		木		金		土		日		月		火		
該当者	元	オ	元	オ	元	オ	元	オ	元	オ	元	オ	元	オ	
□作業前ミーティング報告書により関係者に周知させているか？ 1															
2															
□重機に作業が行われているか？ 1															
2															
□始業前点検が行われているか？ 1															
2															
□立入禁止措置及び作業指揮者が行われているか？ 1															
2															
□資格者証が有効であるか？ 1															
2															
□合図を定められた者により行われているか？ 1															
2															
□シートベルトを着用しているか？ 1															
2															
□地下埋設物の確認を行ったか？ 1															
2															
□架空線近接作業の有無を確認したか？ 1															
2															
□運転席を離れる際は、エンジンを停止し、鍵を抜いているか？ 1															
2															

☆移動式クレーン作業遵守事項及び確認事項

オペレーター及び玉掛者（合図者）確認事項

曜日	水			木			金			土			日			月			火			備考
該当者	元	オ	玉	元	オ	玉	元	オ	玉	元	オ	玉	元	オ	玉	元	オ	玉	元	オ	玉	
□作業開始前にＫＹミーティングで作業内容，手順を確かめたか？ 1																						
2																						
□作業開始前に、安全装置の作動を確かめたか？ 1																						
2																						
□吊荷の重量を確かめたか？ 1																						
2																						
□玉掛用具の選定は適切か？ 1																						
2																						
□作業開始前に据付地盤を確かめているか（傾斜地は禁止）？ 1																						
2																						
□クレーンの設置地盤、アウトリガー、転倒防止の確認は良いか？ 1																						
2																						
□３３３運動を実施 1																						
2																						
□バックホウでの揚重作業でリモコンモードを使用するか？ 1																						
2																						
□玉掛者は、『クレーンモード切替』を確認したか？ 1																						
2																						
□吊り易くフィンガーチェックを行っているか？ 1																						
2																						
□走行中にブーム・フックの操作を行っていないか？ 1																						
2																						
□運転席を離れる際は、エンジンを停止し、鍵を抜いているか？ 1																						
2																						

【安全注意事項】 元請指示事項

1．

2．

3．

使用する重機の種類，能力等の確認				作 業 条 件																	安全[illegible]
NO	ﾊﾞｹｯﾄ容量及び規格	使用重機	メーカー	①作業半径		②定格荷重		③吊荷荷重		④玉掛用具		⑤吊重量（③+④）		⑥定格荷重×0.89		判定	私は、始業前チェック項目の点検及び重機作業計画の内容を関係者と打合せを行い、確認し作業にあたり、関係法令及び作業所の安全指示事項を遵守して、安全作業にて作業を行います。								
1	0.2	m3	バックホウ	クボタ	3.00	m	0.90	t	0.70	t	0.01	t	0.71	t	0.80	t	合	運転経験年数	10 年	4 ヶ月	2019 年	7 月	22 日	運転手サイン
2	0.1	m3・t	バックホウ	CAT		m							0.00	t	0.00	t			5 年	9 ヶ月	2019 年	7 月	22 日	運転手サイン

打合せ参加者サイン

作業所名：○○○作業所

西武造園株式会社，西武緑化管理株式会社，[illegible]

【重機配置図】

作成した協力会社名を入力

作業予定日を入力（最大で1週間以内とする）

作業場所を入力

玉掛資格者を入力

指揮者又は誘導員を入力

資格者証の番号を入力

日付を入力

曜日を入力

安全注意事項及び指示事項を記入し、周知徹底する。

1号機オペレーターに直筆でサインを貰うこと。

2号機オペレーターに直筆でサインを貰うこと。

打合せ参加者に直筆でサインを貰うこと。

作業時間を入力

作業内容を入力

打合せした日にちを入力

作業内容を詳細に入力

オペレーターを入力

重機の番号を入力（2台まで入力可能）

1号機オペレーターを入力

2号機オペレーターを入力

元請確認者を入力

2号機のオペレーターのチェック欄（確認した場合、〇✔ーを記入する）として使用する。必ず確認すること。

1号機の元請確認者のチェック欄（確認した場合、〇✔ーを記入する）として使用する。必ず確認すること。

1号機の玉掛資格者のチェック欄（確認した場合、〇✔ーを記入する）として使用する。必ず確認すること。

1号機のオペレーターのチェック欄（確認した場合、〇✔ーを記入する）として使用する。必ず確認すること。

移動式クレーン（移動式クレーン仕様バックホウを含む）を使用する場合にオペレーターと玉掛資格者は、必ず確認すること。

1号機のバケット容量又は規格を入力

2号機のバケット容量又は規格を入力

1号機のメーカー名を入力

1号機の元請確認者のチェック欄（確認した場合、〇✔ーを記入する）として使用する。必ず確認すること。

1号機オペレーターの運転経験年数を入力。

1号機の名称を入力

吊荷との作業半径を入力

作業半径3mでの揚重能力を入力

合否を判定すること。合格しないと作業が出来無い。

2号機オペレーターの運転経験年数を入力。

日付を入力

2号機の名称を入力

2号機のメーカー名を入力

吊荷の重量を入力

玉掛用具の重量を入力

自動計算します

自動計算します。安全率89%を勘案しています。

作業所名を入力

クレーン機種一覧　各クレーンの種類をクリックすると機種一覧が見られます

ラフタークレーン

リーチタワークレーン

トラッククレーン（箱型ブーム）

トラッククレーン（ラチスブーム）

オールテレーンクレーン

車両積載型クレーン

クローラクレーン（ラチス式）

クローラクレーン（テレスコピック式）

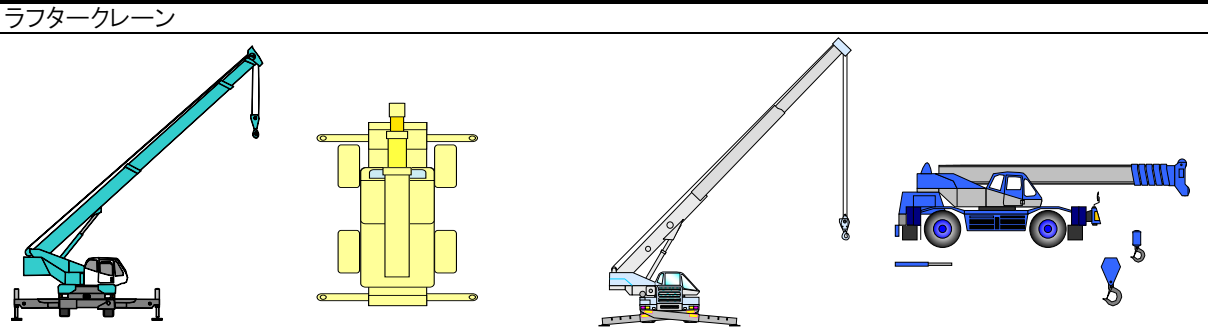
カニクレーン

レッカー型トラッククレーン

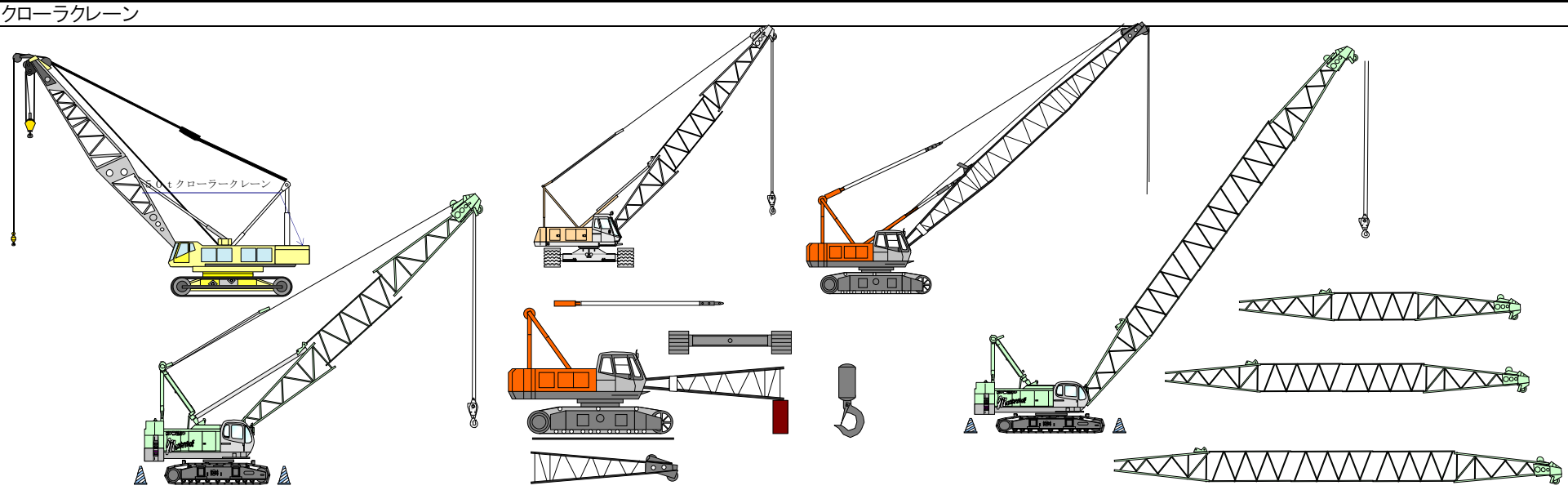
クレーン仕様油圧シャベル

軌陸両用クレーン

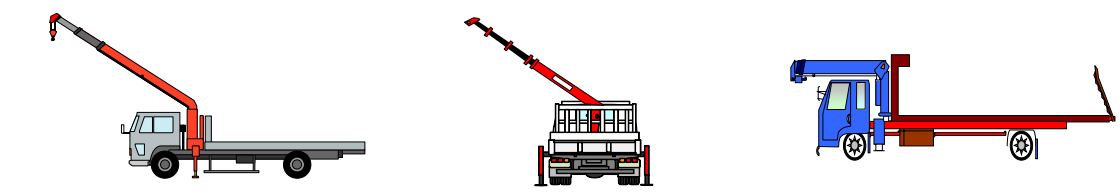
ラフタークレーン



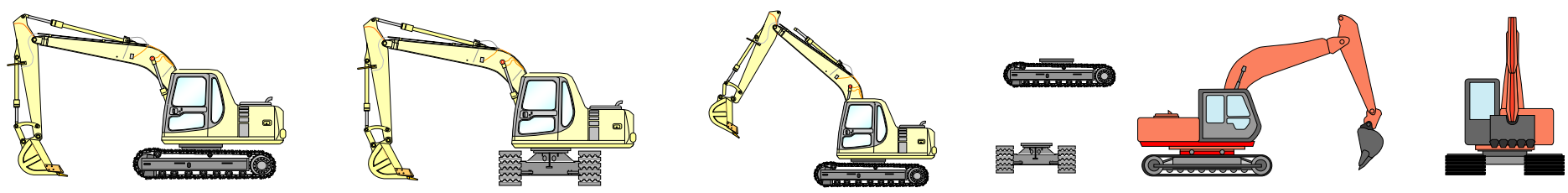
クローラクレーン



車両積載型クレーン（ユニック車）

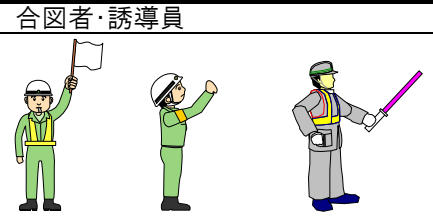


クレーン仕様油圧ショベル

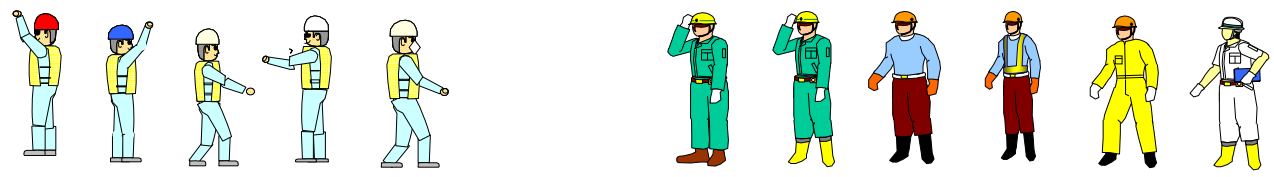


人物

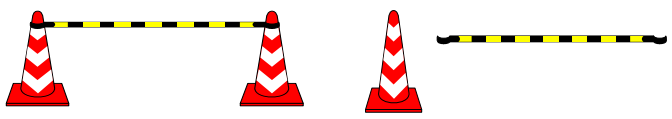
合図者・誘導員



作業員



機材・資材



記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

20〇〇 年 〇 月 〇 日

持込機械等［電動工具 電気溶接機 等］使用届

着工日前迄

事業所の名称 〇〇公園整備工事作業所

所　長　名 〇〇 △△ 殿

作業所長（現場代理人）の名前

一次会社名

持込会社名

（　　次）
代表者名 印

該当企業名記入、企業社印

TEL

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備のうえ持込・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては関係法令に定められた事項を遵守します。

記

番号	機械名	規格 性能	管理番号 受理番号	持込年月日 搬出予定年月日	点検者	取扱者
1				年　月　日		
				年　月　日		
2				年　月　日		
				年　月　日		
3				年　月　日		
				年　月　日		
4				年　月　日		
				年　月　日		
5				年　月　日		
				年　月　日		
6				年　月　日		
				年　月　日		
7				年　月　日		
				年　月　日		
8				年　月　日		
				年　月　日		
9				年　月　日		
				年　月　日		
10				年　月　日		
				年　月　日		
機械の特性、その他その使用上注意すべき事項						

元請確認欄			受理番号	受理証確認者	
所長印	担当者	担当者印		年　月　日	

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

持込時の点検表

点検　　年　　月　　日

電動工具・電気溶接機等										
番号 / 点検事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
アース線										
接地クランプ										
キャップタイヤ										
コネクタ										
接地端子の締結										
充電部の絶縁										
自動電撃防止装置										
絶縁ホルダー										
溶接保護面										
操作スイッチ										
絶縁抵抗測定値										
各種ブレーキの作動										
手すり・囲い										
フックのはずれ止め										
ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ・ﾁｪｰﾝ										
滑車										
回転部の囲い等										
危険表示										
その他										

必要事項記載

機械名

(1) 電動カンナ
(2) 電動ドリル
(3) 電動丸のこ
(4) グラインダー等
(5) アーク溶接機
(6) ウインチ
(7) 発電機
(8) トランス
(9) コンプレッサー
(10) 送風機
(11) ポンプ類
(12) ミキサー類
(13) コンベヤー
(14) 吹付機
(15) ボーリングマシーン
(16) 振動コンパクター
(17) バイブレーター
(18) 鉄筋加工機
(19) 電動チューンブロック
(20) その他

（注）

1. 持込機械等の届け出は、当該機械を持ち込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する個所へレ印を記入すること。
3. 絶縁抵抗の測定については、測定値（MΩ）を記入すること。
4. 持込機械届受理証を持込機械に貼付すること。

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂
2020年04月01日　改訂

20〇〇年〇月〇日

年　少　者　就　労　届

着工日前迄

対象工事名：〇〇公園整備工事

〇〇公園整備工事　作業所長　殿

作業所長（現場代理人）の名前

所 在 地
会 社 名
代表者名　　印

該当企業名記入、企業社印

貴作業所の工事を施工するにあたり、下記の者は満１８才未満ですが、年少者使用同意書、年齢証明書（住民票抄本可）を提出の上、当社の責任において就労させますのでお届けします。なお、危険または有害な業務には就労させません。（満１６歳未満の者には、親の承諾書を添付し就労させます。）

記

氏　　名	生　年　月　日	現　　住　　所	電　話　番　号
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－

該当者が入場する場合、記載

元　請 確認欄	所長印　担当者印

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂
2014年09月01日　改訂
2020年04月01日　改訂

20〇〇年〇月〇日

高　齢　者　就　労　届

着工日前迄

対象工事名：〇〇公園整備工事

〇〇公園整備工事　作業所長　殿

作業所長（現場代理人）の名前

所 在 地
会 社 名
代表者名　　印

該当企業名記入、企業社印

下記の者は満６５歳以上ですが、当社の責任において就労させますのでお届けします。

記

氏　　名	生　年　月　日	現　　住　　所	電　話　番　号
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－
	年　月　日 （　　歳）		－　－

※安衛法第62条（中高年齢者についての配慮）において

事業者は、中高年齢者その他労働災害の防止上その就業に当たって特に配慮を必要とする者については、これらの者の心身の条件に応じて適正な配置を行うように努めなければならない。とあるので、状況に応じた適正配置等の措置を行うように。

元　請 確認欄	

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

元　請 確認欄	所長印　担当者印

着工日前迄　20〇〇 年 〇 月 〇 日

工　事　用　車　両　届

事業所の名称 〇〇公園整備工事作業所　　一次会社名 該当企業名

所　長　名 〇〇　△△　殿　　使用会社名 該当企業名

作業所長（現場代理人）の名前

（　　次）
現場代理人
（現場責任者） 該当企業代理人名、捺印　印

下記の通り車両を運行しますので、お届けいたします。

使用期間		年　月　日　～　年　月　日			
所有者氏名			安全運転管理者氏名		
車両	型式		車両番号		
	車検期間	年　月　日　～　年　月　日			
運転者	氏名		生年月日	年　月　日	
	住所				
	免許の種類		免許番号		
自賠責	保険会社名		証券番号		
	保険期間	年　月　日　～　年　月　日			
任意保険	保険会社名		証券番号		
	対人	万円	対物	万円	搭乗者　万円
	保険期間	年　月　日　～　年　月　日			
運行経路		自　～経由　～経由　～至			

（注）1. この届出書は車両１台ごとに提出すること。
2. この届出書に「任意保険」の証書（写）を添付し提出すること。
3. マイクロバス等についても記載すること。
4. 運転者が変わった場合はその都度届出ること。

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

運　行　経　路　図

距　離	km
所要時間 (片　道)	時　　分

運行順路	
略図	(道路、主な建物、目標物等を記入の上、できるだけ分かりやすく記入して下さい。)

元　請 確認欄	

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

元　請 確認欄	所長印　担当者印

着工日前迄　20〇〇　年　〇　月　〇　日

危 険 物 ・ 有 害 物 持 込 使 用 届

事業所の名称　〇〇公園整備工事作業所　　一次会社名　該当企業名

所　長　名　〇〇　△△　殿　　使用会社名　該当企業名

作業所長（現場代理人）の名前

（　　次）
現場代理人
（現場責任者）　該当企業代理人名、捺印　印

このたび、下記の危険物・有害物を持込使用するのでお届けします。なお、使用に際しては、関係法規に定められた事項を遵守するとともに盗難防止に努めます。

	商　品　名	メーカー名	搬　入　量	種　　類	含　有　成　分
使　用　材　料					

工事名及び使用場所	（災害又は健康障害の発生しやすい場所は必ず記入する）		
保　管　場　所		使用機械又は工具	
使　用　期　間	年　月　日　～　年　月　日（予定）		
作業主任者	（屋内作業場、タンク等で許容消費量の有機溶剤を取り扱う作業又は特定化学物質等を取り扱う作業は技能講習修了者）		
危険物取扱責任者	（消防法で決められた量以上を貯蔵する場合は、危険物取扱の免許取得者）		
換気方法・種類	（主なものを記入する。詳細は別に計画書を作成する）		
備　　考	（防毒マスクなどの使用又は他の職種に関係ある事項などを記入する）		

（注）1. 商品名、種別、含有成分等は材料に添付されているラベル成分表等から写し、記入してください。

2. 危険物とは、ガソリン、軽油、灯油、プロパン、アセチレンガスなどをいう。
3. 有害物とは、塗装、防水などに使用する有機溶剤、特定化学物質などをいう。

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

元　請 確認欄	所長印　担当者印

着工日前迄　20〇〇 年 〇 月 〇 日

火　気　使　用　願

事業所の名称 〇〇公園整備工事作業所

所　長　名 〇〇　△△　殿

作業所長（現場代理人）の名前

一次会社名 該当企業名

使用会社名 該当企業名

（　　次）
現場代理人
（現場責任者） 該当企業代理人名、捺印 印

下記の要領で火気を使用したく許可願います。なお、火気使用の終了時には、必ずその旨を報告致します

使　用　場　所			
使　用　目　的	溶接、溶断、圧接、防水、乾燥、採暖、湯沸、炊事、その他（　　）	使　用　期　間	月　日～　月　日
		使用時間(原則)	時　分～　時　分
火 気 の 種 類	電気、ガス、灯油、重油、木炭、薪、その他（　　）		
管　理　方　法	消火器、防火用水、消化砂、防災シート、受皿、標識、監視 取扱上の注意（　　）		
火 元 責 任 者 (後始末巡回者)			
火気使用責任者			

※　使用目的、火気の種類、管理方法は該当事項を〇で囲んで下さい。

許可　第　　号	(許可年月日)　　年　　月　　日
火 気 使 用 許 可	防 火 管 理 者　　印
	担　当　係　員　　印
許　可　条　件	1. 火花及び切断屑は必ず受皿で受けること。 2. 作業場所には粉末消火器を配置すること。 3. 作業終了後は火がないことを確認すること。 4. 5.

※　毎日時間で管理する場合は、この様式を参考にして書式を作成して下さい。

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

月度　安　全　衛　生　計　画　表

工　事　件　名　○○公園整備工事

工　期	自		引渡し日	
	至		作　成　日	

安全衛生重点目標

当　社　作　成

※支店

○○公園整備工事　作業所

安全衛生
責任者名　　印

日　付	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2
曜　日																																					

支店主行事

行　事

安全衛生協議会は
月に１回以上開催する事

当　社　作　成

旬　間　目　標	上旬	中旬	下旬

重点目標にそった項目を掲げる

工種・内容数量は必ず記入の事

当　社　作　成

安全衛生当番

安全推進員

工　程	作業実線
	工種、内容
	数　量
工　程	作業実線
	工種、内容
	数　量
工　程	作業実線
	工種、内容
	数　量

当　社　作　成

注意　　安全衛生協議会議事録に添付して報告のこと　　※５Ｓ運動　**整理・整頓・清掃・清潔・躾**　　※　工事件名は必ず記入の事。

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

年度（　　年　　月～　　年　　月）　安全衛生管理計画書

元 請 確認欄	所長印　担当者印

事業所の名称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所　長　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　殿

安全衛生管理体制		役　職　名	氏　名
	担　当　役　員		
	雇用管理責任者		
	総括安全衛生管理者		
	安　全　管　理　者		
	衛　生　管　理　者		
	安全衛生推進者等		
	工事担当責任者		

基本方針	

常時使用する労働者
→ 100人以上の場合　→ 総括安全衛生管理者を
→ 50人以上の場合　→ 安全管理者、衛生管理者、産業医
→ 10人以上50未満の場合　→ 安全衛生推進者（又は衛生推進者）を選任する

会　社　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ㊞

重点施策	実施項目	目標	担当	年間（年度）スケジュール												実施上の留意点	元請指導欄
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

元　請 確認欄	

年　　月　　日

事業所安全衛生管理計画書

事業所の名称＿＿＿＿＿＿＿＿　　一次会社名＿＿＿＿＿＿＿＿

所　長　名　＿＿＿＿＿＿＿＿殿　　使用会社名＿＿＿＿＿＿＿＿

（　次）
現場代理人
（現場責任者）＿＿＿＿＿＿＿＿印

工事名称		
1 工事内容	イ　工　種	
	ロ　工事内容	
	ハ　工　期	年　月　日 ～ 年　月　日
	ニ　主な持込機械・設備等	
2 安全衛生管理体制	店社による安全パトロール実施予定	有（月　回）　予定なし

≪店社≫

［安全衛生担当役員］	役職	氏名	
［工事担当役員］	役職	氏名	
［安全衛生担当責任者］	役職	氏名	
［工事担当責任者］	役職	氏名	
［安全衛生担当者］	役職	氏名	
［工事担当者］	役職	氏名	

≪事業所≫

［現場代理人］	氏名	
［安全衛生責任者］	氏名	

［職長］	［　次下請］	［　次下請］	［　次下請］
	氏名	氏名	氏名
	作業員数　（　名）	作業員数　（　名）	作業員数　（　名）

記 載 例

2008年11月20日　制定
2012年06月15日　改訂

		作業手順書の名称	提出（作成予定）年月日
3 作業手順書	作成済（提出済）		年　月　日
			年　月　日
	作成予定		年　月　日
			年　月　日
			年　月　日

	No	教育内容	実施時期	備考
4 安全衛生教育の計画				

	No	健康診断内容	実施時期	備考
5 健康診断の計画				

	No	実施内容と活動予定		備考
6 重点的に実施しようとする活動				

記 載 例

2010年11月01日　制定
2012年06月15日　改訂

事業主パトロール点検表

作業所　　現場責任者　　殿

下記の通り、当社パトロールを実施したので、報告致します。

点検日	年　　月　　日			工　　種	
点検者	会　　社　　名		役　　職	氏　　名	
	（　　）次				
	（　　）次				

安全自主パトロール点検結果	指摘事項（点検者記入）	処置内容（職長記入）
	元請（又は他業者）への意見・コメント	処置内容（現場責任者記入）

品質自主パトロール結果	指摘事項（点検者記入）	処置内容（職長記入）
	元請（又は他業者）への意見・コメント	処置内容（現場責任者記入）

元請のコメント	

※毎月１回実施し、元請けの現場責任者に提出すること。

※保管は作業所にて行う。

現場責任者
／

記 載 例

2010年11月01日　制定
2012年06月15日　改訂

事業主パトロールチェックリスト

本日の作業内容		本日の人員　　人	
管理項目		点　検　項　目	評価判定
安全衛生確認事項	管理面	1．安全提出書類綴りの確認	
		①作業員名簿一覧表の記入に漏れがないか	
		②新規入場教育の実施状況の確認	
		③機械・器具持ち込み使用届けの確認	
		④安全衛生協議会事項周知報告書の確認	
		2．有資格者は適正に配置されているか	
		3．高所作業に６５歳以上が就労していないか	
		4．作業手順書は作成されているか	
		5．施工体制台帳の記入の漏れはないか	
	設備面	1．作業床は確保されているか	
		2．安全帯の取付け設備はあるか	
		3．開口部の覆い・端部手摺はあるか	
		4．脚立・道板等の強度はよいか	
		5．危険作業（火気・有機溶剤作業）の保管・使用環境はよいか	
	行動面	1．ＫＹ活動記録内容はよいか	
		2．安全帯を必要時に使用しているか	
		3．不安定・無理な作業はないか（不安全行動）	
		4．保護具の使用はよいか（メガネ・マスク）	
		5．予定外作業はないか	
	その他	1．	
		2．	
		3．	
		4．	

評価・判定の記入例　○：良い・実施済・作成済　△：作成中・計画中　×：悪い・未実施・未作成　／：該当無し

※毎月１回実施し、元請けの現場責任者に提出すること。

※保管は作業所にて行う。

記 載 例

2010年11月01日　制定
2012年06月15日　改訂

事業主パトロール確認欄

関　連　業　者　確　認						
年　月　日	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・
実　施　者						
年　月　日	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・
実　施　者						
年　月　日	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・
実　施　者						
年　月　日	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・
実　施　者						
年　月　日	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・
実　施　者						
年　月　日	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・
実　施　者						
年　月　日	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・
実　施　者						
年　月　日	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・	・　・
実　施　者						

※事業主パトロールチェックリスト・事業主パトロール点検表の提出と併せて記入すること。